

5月校長の想い

忍者の三病

神津島の皆様。お元気でお過ごしのことと存じます。

さて、皆さんは黒装束で素早く動き、手裏剣やマキビシなどを武器とする「忍者」をご存じでしょうか。かくいう私も会ったことなどはありませんが。

その忍者が克服すべき3つの病があるとのことで、調べてみました。

忍者の三病とは、一に恐れ、二に侮り、三に考えすぎとのことで、この三つを取り除けば電光のごとくに速やかに侵入することができるとのことで、これは忍者ではなくても当てはまるものだと思います。

以下の説明がありました。

第一に、**敵を恐れること**により心が委縮し、動揺して取り乱し、日頃習って工夫したことも忘れてしまい、手足が震え、顔色が変わり、あるいは話し方が尋常でないことによって見とめられて、見つかってしまう。

第二に、**敵を軽んじ相手を愚かに思うこと**によって、陰謀が浅くなってしまう。浮ついたやり方によって事を仕損じることがある。

第三に、**あまりに大切に考えすぎ、よけいなことまで考えると**、疑わなくてもよいところまで疑うようになってかえって危険が多くなってしまい、意思が決定できず、しばしば迷いが生じて失敗することがある。

このコロナ禍の現代においても、コロナを恐れてばかりいて心が病んでしまうことがないように、そしてコロナを甘く見て、三密状態でマスクもなしで行動するような、軽んじる行動を慎み、あまりよけいなことを考えずに、手洗い、うがい等を励行していけば、安全に過ごすことができると思います。

3度目の緊急事態宣言下ではありますが、元気に毎日を過ごしていこうではありませんか。